

会 議 録

会 議 名	令和4年度 第1回山形市立図書館協議会
日 時	令和4年8月26日（金）午後2時～午後3時30分
開催場所	南部公民館 3階 集会室
主 催	図書館
出席者	<p>【図書館協議会委員】 伊藤弘昭委員長、井上幸弘副委員長、大城勝利委員、高木光紀委員、 小鹿泰子委員、三宅功太委員、村形弘也委員、山口由美委員、 佐々木僚委員、大場恵子委員</p> <p>【教育委員会】 金沢智也教育長、高橋一実教育部長、青木秀貴社会教育青少年課長補佐</p> <p>【事務局】 佐藤誠館長、齋藤久美副館長、池田博幸副館長(兼)管理係長、 中村進二副館長(兼)企画運営係長、石澤葉子副館長(兼)図書サービス係長</p>
議 題	<p>報告 令和3年度の図書館事業について ほか</p> <p>協議 令和4年度の図書館事業について</p>
傍 聴 者	なし
審議経過	下記のとおり
資 料 名	<p>①令和4年度 第1回山形市立図書館協議会資料（事前配布）</p> <p>②令和4年度 第1回山形市立図書館協議会資料 質問と回答（当日配布）</p>
そ の 他	次回の開催日：令和5年2月上旬
作 成 者	副館長 齋藤久美

【次第】

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 委員長あいさつ
- 5 報告
 - (1) 令和3年度の図書館事業について
 - (2) 山形市立図書館本館の休館について
- 6 協議
 - (1) 令和4年度の図書館事業について
- 7 その他
- 8 閉会

* 報告、協議については、山形市立図書館条例施行規則第19条の規定により、伊藤弘昭委員長が議長となり、以下のとおり議事（5報告・6協議）を行った。

議長	次第の5報告、(1) 令和3年度の図書館事業について、事務局から説明願います。
事務局	<p>令和3年度の図書館事業につきましては、事前に頂戴しました質問、ご意見について中心に、回答、説明いたします。</p> <p>本日配布した別紙にまとめておりますのでこちらをご覧ください。</p> <p>取組3-(4)レファレンスサービスの向上と充実</p> <p>Q1 学術的な問い合わせ、郷土に関すること、身近な事柄に関する調べものなどだけをレファレンスの件数に数えているのではないか。 「この本ありますか」という本の所蔵についての相談も大切にしたい。</p> <p>A1 本の所蔵の確認等については通常の館内案内サービスの一つとしてレファレンス業務件数としてのカウントはしておりませんが、来館者の満足度を高めるため重要な基本的サービスですので、迅速かつ丁寧に対応してまいります。</p> <p>Q2 2021年に出された福井県立図書館の覚え違いタイトル集『100万回死んだねこ』では、図書館職員になんでも聞いてもらえる環境をつくっていることがわかる。 県内の図書館職員による「図書館職員おすすめの本」はなかなか良い企画で、展示されている本も貸し出されている。 そこで「覚え違いタイトル集」を県内の図書館に働きかけて集めて見てはどうか。</p> <p>A2 県内図書館職員の投票により選定する「山形県図書館大賞」の今年度のテーマは「不思議な話の本」に決定し、現在二次投票が進められていますが、次年度のテーマ案として「覚え違いタイトル集」を提案いたします。</p> <p>Q3 館内検索機OPACで検索しても求める本にヒットしないことがある。 検索の仕方が悪い場合もあるので、「検索しても見つからない場合は職員に聞いてください」のような表示をしたらどうか。 図書館職員と利用者がやりとりしながら求める資料を見つけ出す、探し出す。 利用者が求める資料を提供するという図書館の機能を大切にしたい。</p> <p>A3 本図書館は、市民に親しまれる図書館を目指しており、ご指摘のとおり、このような案内があれば、職員に気楽に声をかけることができ、図書館としても必要な資料を提供できるものと思います。 市民のニーズに適切なサービスを提供できるよう、すぐにでも対応してまいります。</p> <p>取組5-(3)職場体験学習等の受け入れ</p> <p>Q4 新型コロナウイルス感染症により、職場体験が出来なくなって3回目。 このまま、毎年取りやめで良いのか疑問である。 これまで、職場体験を受入れてきた図書館は体験プログラムが出来ていると思う。それを活用して「市立図書館体験プログラム」のビデオや</p>

	<p>動画を作れないか。</p> <p>職場体験がコロナで無理なら、中学生の期待に何か応えることが出来て支援出来るものはないか。</p> <p>△4 学校教育課によると、今年度5月の「中2はたらく体験推進事業」を希望した学校は計6校でした（内 図書館を希望したのは一中と山寺中）。</p> <p>しかし、コロナウイルスの蔓延により中止・延期になりました。</p> <p>その後7月に金井中の生徒が86事業所での体験活動を行い、10月には山寺中の生徒が図書館での体験活動を行う予定です。</p> <p>今後、体験プログラムの動画化を検討しつつ、学校教育課や各学校に図書館の職場体験受入プログラムの情報を提供してまいります。</p>
村形委員	（Q2について「山形県図書館大賞」の）その時期になったら（テーマ案として）提案いただければと思う。
高木委員	（Q4について職場体験学習）山寺中が10月27・28日で、今回も何もなければお願いしたい。そのうちの1人が図書館で体験したいと言っているので叶えてあげたいと思っている。各学校コロナ禍になって、取りやめしている学校が多い中なので、もしそういう機会であっても図書館の仕事を体験したいと言っている子がいればぜひ継続して残していつてもらえたらなおありがたい。
議長	職場体験学習を取りやめるという主体はどちらなのか。図書館側なのか学校側なのか。
事務局	図書館側では希望があれば受け入れをしている。
議長	図書館側で拒否しているわけではないということか。図書館側はそれに従うしかないと言うことで。
事務局	令和3年度の事業については以上です。
議長	<p>ただいまの件について質問・意見はありますか。</p> <p>本の所蔵と所在に関する調査については案内業務として、通常はレファレンスという形では扱っていないので一応お伝えしておきます。</p> <p>次に、次第の5報告、(2)山形市立図書館本館の休館について、説明願います。</p>
事務局	<p>山形市立図書館本館の休館について、資料に基づき説明。</p> <p>（事前の質問、意見なし）</p>
議長	ただいまの報告説明については、工事に伴う閉館休館で、貸出等は行うということだが、ちなみに何人くらい閲覧スペースがあるか。
事務局	風除室の中に長机とイスを置いて2人くらいです。混みあうようなら玄関の外にイスを置いて対応したいと思っています。
井上委員	玄関前書棚を自由に取れるようにするということが、ガラスの棚の本を借りたときはイスを持って来て取るイメージか。
事務局	（手が届かないところの本は）職員がお手伝いして取ります。
議長	<p>他に質問・意見はありませんか。</p> <p>なければ次第の6協議に移ります。令和4年度の図書館事業について事務局から説明願います。</p>
事務局	令和4年度の図書館事業及び令和4年度図書館の運営方針について資料に基づき説明。

事前に頂戴しました質問、ご意見がございますので回答、説明いたします。
本日配布した別紙にまとめておりますのでこちらをご覧ください。

取組6-(2)広報やまがた・市公式ホームページを通じた情報提供

Q1 まだまだ山形市立図書館の存在を知らない人がいるように感じている。
自分の周りでも、知っている人・行ったことがある人は少人数だった。それがとても残念でならない。

こんなにも趣のある素敵な山形市立図書館を広く市民の方々に知ってもらえるよう、周知活動をよろしくお願ひしたい。

イベントなどをホームページやSNSに載せても興味のある人しか見えないような感じがするため、周知方法については課題があると思われる。

A1 今後も子供向け、大人向け、ビジネス、趣味等、様々な分野の蔵書を充実させるとともに、講座の開催などにより市民から図書館に足を運んでいただけるよう努力してまいります。

一方で広く市民が集まる場において図書館の存在を知ってもらうイベント等、PR方法を検討してまいります。

議長	他に質問や意見、確認したいところなどありませんか。
村形委員	ウィズ・コロナということで活動を制限しないようにしているという認識をしているが、令和4年度の事業で乳幼児・児童向け「絵本とあそぼう」が中止になっている。一方でおはなしのひろばや小学生対象の事業は実施しているという違いは何か。できればもう一緒に実施したほうがいいのではないか。
事務局	「絵本とあそぼう」は乳幼児が対象ということもあり、マスク着用在が難しいです。また、絵本を読むボランティアの方も高齢ということで意向を確認しながら行っていますが、コロナ感染を懸念して実施しにくい状況です。 児童向けの事業についてはマスクの着用を同意いただいた方のみ参加していただいています。事業の実施に関しては、マスク着用できるかできないかで判断しています。
村形委員	県立図書館では、おはなし会は文教大学の学生から協力いただいている。実施者が若いので、健康を心配する点が市と違うかなと思う。ただ乳幼児でマスク着用しない方も人数制限をして、参加を認めて柔軟に対応して今後検討してはどうか。 子どもの親が話し相手がいないなど、そういう場を求めている人もいる。そういう親にも配慮してもらえれば。
議長	子どもだけでなく保護者の交流の場というのがある。そこら辺を含んでよろしくお願ひしたい。他にどなたか。
大場委員	公園緑地課の設置した「小さな図書館」は図書館のPRになる。 どのようなものか教えて欲しい。
事務局	公園緑地課より依頼があり、子ども向けの本を中心に50冊ほど提供しました。 さらに1ヶ月ほどで少なくなり追加提供をしました。リサイクル本については、今後ずっと、もらっていいよとするか、読み終わったら返してくださいと標記するかは今後の検討課題です。

議長	学校図書館との連携で団体貸出があるが、どれくらい相談等があるか。
事務局	団体貸出については、校長会などの中でPRさせてもらっています。学校から図書館に電話をいただき、例えば「宮沢賢治の本」を何冊ということで1週間ほど時間をいただき揃えております。学校側の要望に応じての貸出を行っている。令和3年度は29校1,873冊、貸し出しています。
議長	学校から依頼があれば、全部貸出に応じているということか。
事務局	団体貸出については、先生が来館しその場で本を選んで借りる場合があります。その場合はカウントしておりませんが、先生と職員がやり取りしながら貸出を行っています。
議長	<p>この中にも先生がおられるので、調べ学習を行う際に、学校の資料だけでは十分足りないというような場合、公共図書館（市立図書館）に相談するよう言っている。29校の利用というのは果たして浸透しているのか。まだまだ調べ学習の相談いただければ積極的に対応しますよというところをPRできれば。</p> <p>現場の先生に知ってもらうにはどのような方法があるのか。学校サイドの方はどうなのか。必要としているのかしていないのか。</p>
大城委員	<p>小学校の現場では、国語の学習に合わせて教科書の作家を中心とした本を集めて借りてくるといようなことを前任のさらにその前の学校でも担任の職員がやっていた。市立図書館からも本を借りてきて教室に並べておく、それを子供たちが自由に手に取ってということが出来るような環境を作ることはやっていると思う。29校というのは多いのか少ないのか判断が微妙なところがあるが、本校でも活用している。</p> <p>広報については小学校校長会の中でこういった市立図書館協議会の一員として広報させていただく。</p>
高木委員	<p>最近だが山寺中学校でも本を探して欲しいと言う要望が図書館に対しあると思う。公開授業があるので図書館から本を集めてもらったらいいのではないかという話をした。</p> <p>例えば、30人とか学級にいた時に、もし同じ本が30冊あればいいという時に、市立図書館でも限りがあるため市内の中学校とかのネットワークで同じものを借りるとかいう方法だと一気に揃うので、市立図書館ネットワークで借りられれば良いと思う。そのためには全校がバーコードでの貸出ができることだが、実は1昨年まで山寺中学校の図書館はバーコード整備がなっていなかったため、費用を工面して急遽バーコード貸出を整備した。たぶん他校も整備はなっていると思うので、現在のICT状況を考えれば一気にいろんなことが出来ると思うので、もっともっといろんな利用方法が広がれば良いと思う。</p>
議長	学校同士のネットワークというものが現在なければ、教育委員会が中心になって、公共図書館との相互貸出が可能になればお互いメリットになるのでよろしくお願したい。
大場委員	<p>8月に図書整理員研修会を実施した。その時、探究学習の時に子供たちはすぐパソコンの方に行ってしまう、という話があった。私としては図書整理員の方に、先生方に本で調べる調べ方をまずしっかり体験させてくださいと図書整理員さんから言ってくださいと伝えた。</p> <p>本でも調べられるパソコンでも調べられるそういう風にならないと本の方になかなか向かない。</p> <p>旧態依然というような読書センター的な仕事と情報で各学校どちらに力を入</p>

れているか聞いたところ、ほとんど情報が多かった。それだけ各学校は探究学習に力を入れているのがよくわかる。わかるからこそ調べ方を教えて欲しい。

市立図書館のボランティアさんがいろいろなさっているようなことを知らない図書整理員も多い。昨年度から井上委員にご協力いただき、紙芝居の読み聞かせをしたり、素語りなどこういうことも図書館でやっているということを研修会で話した。

このようなことをしているのを多くの先生に知って欲しい。知らなければ、子供たちが図書館に来ることはないだろう。

このような啓発活動をしているが、なかなか集まらないというのが現状。

議長	積極的に啓発活動をしてくださり御礼申し上げます。
井上委員	8月6日、8月10日に図書館でズームを使ったイベントがあり参加した。ズーム参加で南陽市の人、チラシを見て市外の人に参加していた。 図書館も集まってくる人だけではなく、図書館のほうからもぜひ発信することを考えて欲しい。 著作権絡みで絵本の読み聞かせや紙芝居をやろうと思ってもそれが難しいところもあるが、本人が講演したり、書いたものについては問題ないので、今後も積極的にズーム等を使って発信していただきたい。
議長	他に質問・意見はありませんか。 では、これで、議事を終了します。